

# 衛星打ち上げ 県、会議発足

## 「スペースポート推進本部」

米企業と提携し、大分空港（国東市）を水平型の人工衛星の打ち上げ拠点とするための「スペースポート推進本部会議」が6日、県庁で発足した。2年後の打ち上げを目指し、部局横断の5班からなる推進本部事務局で取り組みを進めることを確認した。

県は4月、米国の宇宙企業「ヴァージン・オービット社」と協定を締結。同社は飛行中の航空機から人工衛星を搭載したロケットを発射する「水平型」の打ち上げ事業の実用化に取り組みしており、県は大分空港をアジア初の水平型宇宙港にすることを目指している。

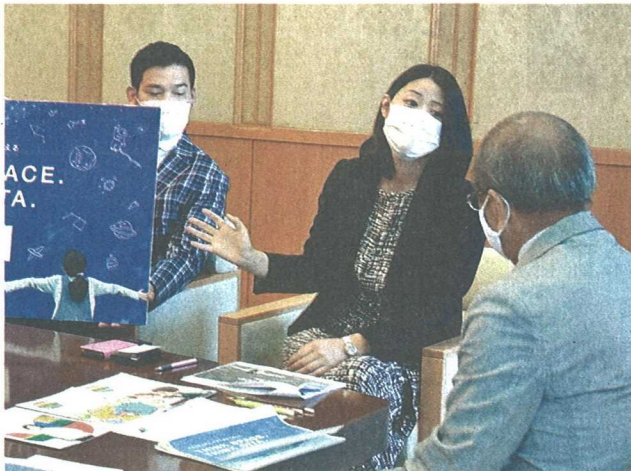
初会合では、ヴァージン・オービット社が今年中に2度目の発射実験を行うことなどが報告された。県は、大分空港での打ち上げに向けて課題となる国内の法規

# 大分空港から2年後目指す

制などに関する調査事業を野村総合研究所に委託した。会議は冒頭を除き、非公

## 小中高で「STEAM」教育

### 課題見つけ解決力養う



広瀬知事(右)に取り組みを報告する井上代表理事(中央)

自ら課題を見つけて解決する力を養う「STEAM」教育が県内の高校や小中学校で始まる。大分空港のスペースポート化構想を踏まえ、「宇宙をテーマに思考力や創造力の育成も図る。東京の一般社団法人「S

開で行われた。本部長の広瀬知事は、関連イベントの開催による県内での機運の醸成を含め、着実に取り組みを進めるよう指示したという。

TEAM JAPAN(井上祐巳梨代表理事)によると、「科学」「技術」「工学」「芸術」「数学」の頭文字を組み合わせた造語で、2000年代に米国で始まった。県教委が長期教育計画で推進を決めた。

法人は今月から県内の全公私立高と九重、玖珠両町の小中学校で教諭の研修を行う。数学やプログラミングを活用し、戦略を立てながらスポーツをする授業で実践する。来年1月には、宇宙や先端技術の講座などを行う「STEAMフェスタ」の開催も予定している。

県庁で6日、取り組みを広瀬知事に報告した井上代表理事は「大分の取り組みを世界に発信したい」と意気込みを語った。